

令和7年12月24日  
北九州国道事務所

国道3号黒崎<sup>くろさき</sup>バイパスが全線開通します。  
～黒崎西<sup>くろさきにし</sup>ランプが令和9年度に完成～

- 国道3号黒崎<sup>くろさき</sup>バイパスは、黒崎駅周辺の国道3号の渋滞を緩和するとともに、北九州都市高速道路と一体となって自動車専用道路ネットワークを形成することにより、地域産業活性化等を目的とした事業です。これまでに、本線全線（春<sup>はる</sup>の町<sup>まち</sup>ランプ～陣<sup>じん</sup>原<sup>のはる</sup>ランプ）延長5.8kmが開通しています。
- この度、黒崎西<sup>くろさきにし</sup>ランプ鉄道部の橋梁架設工事が完了したことに伴い、残る工事工程等を精査した結果、黒崎西<sup>くろさきにし</sup>ランプの完成により、令和9年度に全線開通する見込みとなりましたので、お知らせいたします。
- 引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

◇ 開通により期待される主な効果

- 激甚化、頻発化する災害に対する道路ネットワークの機能強化
- 生活道路安全性の向上
- 地域活力の向上

【問合せ先】

国土交通省 九州地方整備局 北九州国道事務所

技術副所長

かきのき  
柿木

ふみひこ  
文彦

工務課長

なかむら  
中村

しんご  
慎吾

TEL：093-951-4331（代表）

URL：<http://www.qsr.mlit.go.jp/kitakyu/>

## R 7.1 2時点

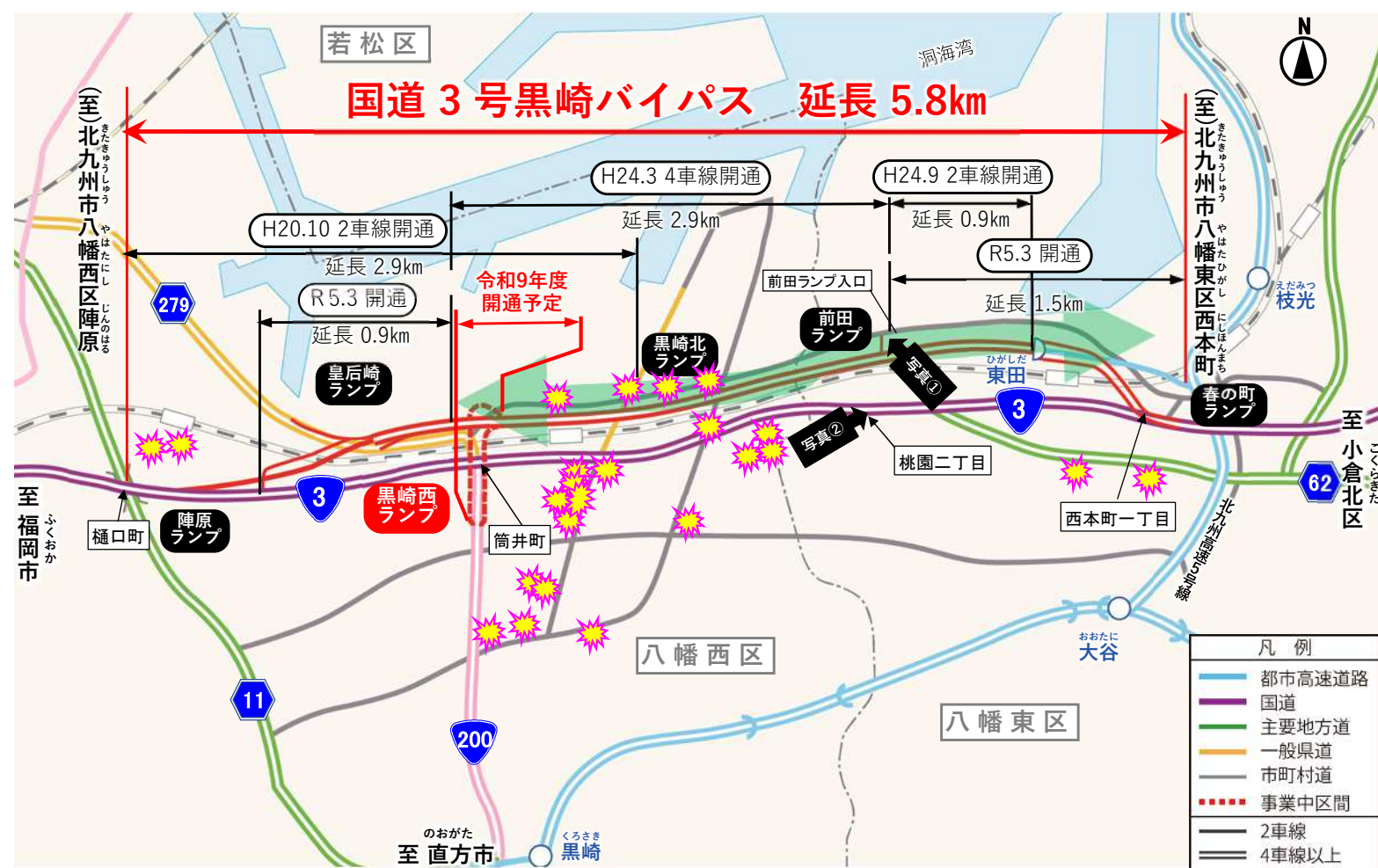


### ▲ 施工状況



# 激甚化、頻発化する災害に対する道路ネットワークの機能強化

- 黒崎・八幡地区周辺では、これまでの豪雨による内水被害や道路冠水により、小倉方面～福岡・直方市方面間の往来など、車両通行に支障が発生。
- 近年、激甚化・頻発化する豪雨災害に対して、これまでの段階的な供用にくわえ、黒崎西ランプの供用により、国道200号からの乗り入れが可能になることで、更なる道路ネットワークの機能強化が図られる。



★：内水被害発生個所（H19年度以降）  
＊北九州市ハザードマップ（令和5年改訂版）より

↔：通行車両動線

## ■ 道路冠水の発生状況



▲ 前田ランプ入口における冠水状況（R7.8）



▲ 国道3号桃園2丁目交差点付近での冠水状況（H27.8）

# 生活道路安全性の向上

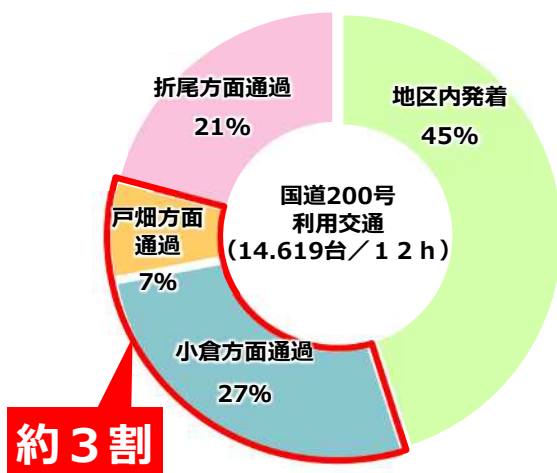
- 国道3号以南の黒崎・八幡地区では、小・中学校を中心にゾーン30やゾーン30プラスなど生活道路事故対策に取り組んでいるが、国道200号利用交通の約3割は同地区内を通過しており、生活道路の交通環境改善が望まれている。
- 黒崎西ランプの供用により、通過交通が排除され、交通安全性の向上が期待される。



※ゾーン30：最高速度30km/hの区域規制を導入し、生活道路における速度抑制を図る区域

ゾーン30プラス：最高速度30km/hの区域規制「ゾーン30」とハンプ等物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域

## ▼国道200号断面の利用交通内訳



- 黒崎西ランプが整備されると、通過交通が黒崎バイパス利用へ転換することでバイパスと一般道との差別化が図られ、**走行環境の改善**が期待される。



交通事業者



